

熊野古道紀伊路第 10 弾（塩屋王子～切目王子）

山行日 : 2021 年 1 月 30 日（土）晴れ

メンバー : do-yan（ここゆめ班）

コース : 塩屋王子 8:12→8:53 清姫の草履塚→9:30 仏井戸→9:40 上野王子→9:46 清姫の腰掛石→10:33 津井（叶）王子→11:07 斑鳩王子→11:27 切目王子→11:49 切目駅

新型コロナウイルス感染の収束の兆しが見えないまま集団での山行ができないので単独で熊野古道紀伊路歩き続き第 10 弾を歩いてきました

前回の最終地、塩屋王子から出発です



塩屋王子神社

塩屋王子は古代より美人王子と呼ばれています

なぜ美人王子と呼ばれるようになったかは文献にもないようですが一説にはこの辺りには高貴な方々が住んでいてきれいに着飾っていたからだ

塩屋王子から約 20 分で海岸近くに出てきた



少し行くと祓井戸観音寺 八十八仏 江戸末期当時交通不便な信仰心厚い人々がしこくの霊場八十八ヶ寺へお参りしたい一心で小さい漁船で各霊場の石を持ち帰りこの寺にお祀りしたといわれています



国道沿いの古道を南下していくと清姫の草履塚に出合う



安珍を追う清姫がここで草履を脱ぎすてて裸足で追った

さらに南下していくと仏井戸の道標があったので寄ってみることに



井戸の北側の壁面に石仏三体が彫られている
普段は井戸の水の中に入り見ることができないですが仏井戸のように仏像を井戸の中に祀ることは全国的にも珍しいことのようにです



古道に戻り少し進むと上野王子跡に到着
もとはこの上野王子、先ほど見た仏井戸に王子があったようですが古道の移動でこちらに移されたようです

清姫の腰掛け石



安珍を追う清姫が休息をとった石

ここから国道に沿った海岸線を進む、途中で国道と合流するところもあり車が多いので歩行には注意が必要です

国道を左に折れて少し登ると津井王子（叶王子）に着きます



ここから国道を横切り印南港の中を進む

かつお節発祥の地 印南町



印南港を出て平和橋を左に折れ丘の道を進むと

斑鳩王子跡に着く



国道を進むとすぐに国道沿いに古道が出てくる

東光寺薬師如来霊験記の看板



ここから少して切目神社に到着



神社前の公衆トイレを借りて
その後お参りに

切目王子社は熊野九十九王子の中でも藤白王子、稲葉根王子、滝尻王子、発心門王子とともに最も有名な王子社「五体王子」と呼ばれています



切目王子



ここから約 15 分で切目駅に到着



今回の古道歩きもここまで
次回は紀伊路最後の紀伊田辺まで歩きます